

時津町は「家読」を推進しています

# たまには テレビをけして

ようじむ 幼児向け 2024年 ねん 冬号 ふゆごう



## うちどく 家読とは

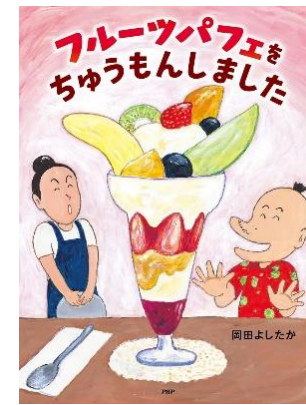
家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく（家読）」です。難しいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



時津図書館 第三回  
小学生  
ビブリオバトル  
チャンプ本



「フルーツパフェをちゅもんしました」  
岡田 よしたか/作・絵（PHP 研究所）

きっさてんでフルーツパフェをちゅもんしたヨージさん。でも「あ、そうや！ ようじおもいだした」とパフェをおいて、行ってしまいます。

しかも、ヨージさんったら次から次のようにおもいだすので…パフェはいつになったら食べてもらえるのかな？



「クリスマスにゆきがふりますように」  
シビル・ドラクロワ/作 石津 ちひろ/訳  
（講談社）

あした明日はクリスマス。どうしても雪がふってほしいリュシーと弟のユリスは、ベッドにはいってもなかなかねむることができません。リュシーがもらったスノードームをふってみると…あらふしぎ！上から雪がふってきました。2人は、雪だるまを作り、そりすべりをして楽しい時間をすごします。



## 「おせち」

内田 有美/文・絵 満留 邦子/料理 三浦 康子・監修  
（福音館書店）

おせちって、しってる？新しい年を祝う、みんなの願いが込められている料理です。たとえば、くろまめは「まめまめしくくらすますように」。なますとかまぼこは、赤と白のおめでたい色。かずのこは「こどもがいっぱいうまれますように」。ほかに、意味のある料理がたくさん！

3段の重箱いっぱいのおめでたいおせち。新年を迎えるのが楽しみになる本。



## 「たぬきのおもち」

せなけいこ/作・絵（金の星社）

うさぎたちがおもちをやいていると、おながかぺこぺこのたぬきがやってきました。たぬきは、うさぎたちがいないすきをねらって、おもちを食べちゃった！ぜんぶよこどりしようとしていると、そこにうさぎたちがもどってきたので、いそいで大きなおもちにばけたたぬき。でも、ひばちの上はあつくって、たまらずにげだすと…。



## 「ねえどっちがすき？」

安江 リエ/ぶん 降矢 奈々/え  
（福音館書店）

めだまや目玉焼きとたまごや卵焼き、リンゴとバナナ、ぶらんこと滑り台、「ねえ、どっちが好き？」すてきなものの中から、どれか一つを選ばなきゃならないなんて！それは、とっても難しい選択です。リズムカルな問いかけと、躍動感あふれるタッチで描かれた男の子とキツネくん。子どもたちは2人と一緒に「こっちがいいかな」「あっちがいいかな」と迷いに迷うことでしょう。



## 「かおたいそう」

むらた よしこ/作（偕成社）

かおたいそうって知ってる？ちいさなきみやおとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃんだって、だれでもできちゃうかおのたいそうです！

えほんのかおに合わせて、いっしょにごかしましょう。家族みんなが盛り上がり、心もリラックスすること、まちがいなしですよ♪

ときつちょうりつときつとしょかん  
発行：時津町立時津図書館